

風光



第二十二回地本定期大会

九月七日(日)労働会館東館ホールにて、第二十二回定期大会が行われ、09年度運動方針・秋闘方針・新役員体制を確立しました。大会には来賓・顧問・代議員・オブザーバー・執行委員を含め全体で約一八〇人の元氣あふれる参加がありました。

発言は特別発言を含め二三本ありました。ぐみの木分会や若松労組の状況も聞け、日頃は遠く離れているけれど組合で仲間としてつながっていることを実感しました。分会・支部・種別・専門部：みな、粘り強くそして工夫し楽しく取り組んでいる

発言に、これからの取り組みへ向かう力がわいてきました。組合は誰かがつくっているのではなく、私たちひとり一人が主人公なのだという原点を再確認できた大会でした。



手遊びにうたごえのある大会

【発言紹介】

特別発言増村潔執行委員「仲野さんの中央派遣について」

みんなへの詳しい報告は7月の代表者会議にて行ったが、執行委員が聞いたのも6/17の執行委員会が初だった。仲野さん不在でどうやっていけばいいのか、中央派遣をどう考えていいのかとまどいの方が大きかった。次の執行委員会では、いろいろな思いが渦巻いていた。そして東海地本の運動をリードしてきた書記長の存在の大きさを実感し、だから今、一人一人が主人公で

一人一人がつくっていく組合の原点を大切にしなければいけないと話し合った。中央からの要請が急であり、もっと充分な議論をしたいというのが本音。執行委員会は本人の決意を感じ、中央の運動の大切さを話し合い、送り出していく決意を固めた。みんなと一緒にがんばっていきましょう!

社会館分会 加藤代議員

「書記局の専従体制について」

東海の次期書記局体制として社会館分会の服部執行委員に要請があり、本人も積極的に受け止めている。7/18には地本からも来てもらい、今、分会で話し合っている。東海がどうなるか、引き継ぎや後任人事がどうなるかを含めた提案がなされなかったことは不十分だった。対理事会ともまだまだある。服部君の退職金や昇給等の条件のこともめ。

話し合いながら前向きに検討していきたい。



犬山さくら分会 岡田代議員 「特殊健診について」

13〜14年前の就職当番、特殊健診は必要ないとの判断ではさくらの中で行われていなかった。4年程前に要求書を出し、試みたが、以後は分会独自で取り組んできた。

06年・07年と、同法人内でメンテナンスの病休者をだした。予防の大切さを確認し、学習会に園長も出席。保育園のみだが、特殊健康調査を受けられるようになり、安全衛生委員会も設置。

今後、乳児院職員も受けられるようにしたい。トヨタQCサークル活動の「強制された自覚性」の問題は耳が痛い。代休を取れる取り組みをやってほしい。

めいほく共同作業所分会 佐藤代議員 「めいほくの新企画と分会状況について」

法人内の職員数も150名となり、職場も点在しているため、一同に集まる企画を作ろうと、8月に納涼会を行った。未組織にもきてもらい、そこで3名拡大。ヘルパー事業者が法人内にあるが労働条件が厳しく、その方が入ったことで実態がわかるようになった。

介護事業所の20才の人は、「人材不足で穴が空いてて、埋めるのが大変、休日返上で働い

てきている。心身共にまいって
る。相談出来ない。」と。

今後そうした困難な状況や思
いを少しでも共有し問題解決す
るためにも、分会運動を軌道に
乗せてがんばらなくてはと思う。

ぐみの木分会 別保・小林代議
員「保育の環境作りと保育のた
めの労働条件の保障を求めて」

ぐみは認可

3年。延長、
日祝日、一時、
特定保育(10
人位)と“多機
能型保育園”
として運営し
ている。他の
私立保育園が
お盆休の3日間を休園するため
であったり、公立の土曜保育が
午前のみであったりして、その
ため、ぐみに一時保育の相談に
くるということになっている。
公的責任の放棄ではないか?! 要
望していく。



一時保育の利用が増加、3歳以
下が多く、育児不安も増加。現
状に見合った一時保育の制度を
要望していきたい。

田代保育園分会 永谷代議員

「08春闘について」

認可5年目、4回目の要求書
提出。パート職員の生休と時給

20円UPの実現。連続4日以上
のパート職員に有給の保障を要求。
法人側は生休保障はするが、無
給でと回答。正職事務時間1h
有給は認められたので差し替え
で実現。パート時給昨年度50円
UP、今年度20円UPと全員時給が
上がるようにがんばった。常日
頃からの理事職員との話し合い
もよかった。

「涼みやきの木分会和田代議員」夕
涼み会時間外手当要求の経過」
則武保育園の取り組みを引き
継ぎ、続けられている夕涼み会
を職員は仕事と位置付けて行っ
てきた。理事会は保育運動だか
ら無給という回答。こちらは時
間外手当を要求したが、出せな

「団結ガンパロー！」 職場闘争も団結だ！！



いとこのことで団体交渉で一人5
000円の支給という回答に。今
だ平行線だが、時間外手当を要
求して団体交渉を継続していく。

新瑞福祉会分会 高羽代議員
「新規事業にあたって」分会員
の声を伝える今後の事」

昨年・今年と新規事業(一時
保育・休日保育・子育て支援セ
ンター)が始まり、特に休日保
育は働き方に大きな影響を及ぼ
すものであることから、今年度
“理事会との懇談の場”を2回
行った。3月に行った1回目は
負担増では職員個々が新規事業
に納得できない事を伝え、理事
の側からも一人一人の声が聞け
てよかったとの反応があった。
6月の2回目は正規職員の採用
を要求し、理事会は正規職員の
配置を約束。年度途中のため実
際の配置は難しくなされてない
が、1年正規はおかないという
ことも確認された。

まだ課題はあるが、団体交渉
をやってきて、懇談を通じて伝
えていく事が大事と認識できた。

発達センターあつた分会 植
田代議員「南側土地高層マンシ
ョン建設について」

マンションが出来ると2/3
が日陰になる。月1回親ととも
に協議を行ってきたが、協議中

は建設申請をしないという約束
をしながら、12月に申請を行っ
ていたことがわかり、職員・親
ともに日夜監視行動を行った。
6月米で他の園と合同でパレ
ードを行い、200名の参加。7
月協議会で土地売却の方向に転
換、次回協議会での議題に。そ
よ風と市交渉予定、がんばる。

若松学園労組 土田代議員

「職場の状況について」

職場復帰後4年。職場の状況
はさほど変わっていない。職員
は一部の職員を除き以前より職
場環境としてはよくなっている
が、園長と一部の職員の影響が大
さい。園長・一部職員の無視が
続き、園長が、他の職員との会
話を阻害。朝会・職員会に参加
させてもらえない。園の状況を
伝えてもらえない。園長が変わ
らないと根本的に変わらない。

みなと福祉会分会 原代議員
「分会・分会会議」

組合に入っ

て5ヶ月、
初めて団体
交渉に参加
して熱気を
感じた。が
んばった先
には結果が
ついてくる。



要求実現の力ぎは団体交渉に大
勢で参加し、いろいろな立場の
人が発言したこと。
月1度の分会会議には多くの
人たちが意見を出し合えて自分
も楽しみにしている。

みなと福祉会分会河辺代議員

「組織拡大について」

08春闘で7名拡大。結成以来
初めての伸び率。拡大できた原
因はねばり強く働きかけ続けた
こと。くじら通信を手渡しで配
り続けたこと。ケアホーム職員
が1人加入した。ケアホームの
事を組合が交渉しているのに当
事者が意見を言えないこと加入。
粘り強く!!いこう。

「仲間がいるってうれしいね」
を感じた1年だった。

ゆたか支部 菅本代議員

「新しい組合の発展をめざして」

福保労は若い人が多くていい!
正しい方針が組織的にもって
いるのがいい。

かつてゆたかは、経営と組合
が一体となって誤った路線を続
けてきた事で職員の関係がめっちゃ
くちやになった。職員同士の誹
謗中傷がある混沌とした状態に
あったが、責任理事の解任とい
う形をとった。厳しい情勢での
賃金問題は深刻。労働条件の悪
化の中で労働組合の必要性を感

じ労働組合を統一した。まだ10%以下の組織率だが、秋に向けて大きな成果を期待して活動していきたい。拡大もがんばる。

昭瑞天支部 堀池代議員「支部が分会の溜めになるように」

昭瑞天は保育園職場ばかりで140人ほど。力のある分会も多い支部で、支部ニューズ発行や学習会、分会員同士の交流などをやっている。

「シリーズ名物組合員・番外編」

「仲間がいるってうれしいね」を全国の仲間にも

特別執行委員 仲野 智さん

組合の仲間を増やす取り組みや実効ある人材確保対策を求める取り組みなど、東海地本の取り組みは全国の運動を引っ張る大きな役割を果たしてきました。今回の中央からの役員専従の要請は、そんな東海地本のみならずの取り組みが評価されていることだと思っています。なかなか元気が取り組みをつくりきれない全国の仲間、東海地本の経験を伝えることが、中央に行



涙・涙の退任の挨拶

分会長は職場に責任を持つという役割があるが、支部はどこに責任を持ち、どういう役割を果たすべきなのか。貧困問題に取り組んでいる湯浅誠さんは「貧困とは溜めの無い状況である」という定義をしている。支部は、分会にとつての溜めの役割があるのではないかと。さまざまな企画を通してできる、分会を超えた、人と人のつながりが組合運動を作っていく。「明日

からがんばれる」という言葉が支部のよさを表している。地域で組合を広めていくという役割についてはまだ弱いところがあるので、取り組みの中で考えていきたい。

名南支部酒井代議員「少数分会の仲間とのつながりについて」
名南支部には1人職場を含めて6分会の少数分会がある。地本の方針を受け、点在分会員と

専従になって12年、そのうち10年ほどを書記長として過ごしてきました。委員長（当時）だった平出さんが退任し、書記長になったばかりの頃は、今思えば出すと気負いと焦りでいっぱいだったと思います。そんなとき、専従経験者でもある町田さん（現在、施設長）が「組合役員にカリスマはいらない」と話してくれました。ひとりの役員がひっぱるのではなく、組合活動はみんなの力でつくるもの、と言いたかったのだと思います。平出さんの退任後、岡崎さん、長尾さん、神田さん、横井さんと現場委員長を先頭に四役・執行委員のみんなと運動をつくってききました。委員長が現場を持っていることで、「みんなで運動を支えよう」とできることをやろうと積極的に運動に参加する下地が

れたと思っています。地本新執行委員合宿、組合学校の内容など、ひとり一人の思いを大切に、みんなの思いやつぶやきを具体化してきました。現場は本気で大変になっていますが、みんなの思いをみんなの力で具体化し、元気になる組合活動をつくってきたことが、700人地本の実現につながったと思っています。

全ての分会・組合員と喜びも悔しさも共有することができるとは「仲間がいるってうれしいね」を本当に実感できる仕事です。現場のみんなと一緒に悩み、考え、一緒に運動をつくっていくなかで、僕も成長できたと思います。僕自身が学び得てきたこと、感謝の思いを東海地本のみならず十分に返せていません。もっともっとみんなと組合のことを語り合いたかったし、若い組合員のみならず、合って本当に素敵なんだよ」と伝えることもできていません。中央から帰ってくる5年後の宿題にしたいと思っています。

12年、本当にお世話になりました。ありがとうございます。

のつながりを強めてきた。大変な職場状況を交流しあっている。そういう人たちと支部が窓口になってかわかっていきたい。支部の取り組みに積極的に声を掛け、「仲間がいる」と実感してもらえる運動をしていきたい。今後は地域分会の結成、一人職場でがんばっている人が参加できる環境を作りたい。

「高年齢者職場の現状と組合としての取り組み」



介護 職場の現状は、慢性的な人手不足。

養成学校は定員割れ、資格を持っていても職につかない。その中で無理をして腰を痛め退職など、このままでは介護の担い手がいなくなってしまう。

高年齢部門の組合員少ないが、昨年初めて厚生労働省交渉に参加し、名古屋市懇談もした。他人事のような対応に、現場の状況を伝えていく必要性を感じた。人材確保・処遇改善の秋の署名を組合みんなを取り組みたい。TVだと介護職のイメージは悪いが、やりがいを感じて働いている事をもっと知ってもらいたい。

新執行部です
よろしくお願ひします

- | | | |
|--------|--------|------------|
| 執行委員長 | 横井あかね | めいほく保育園 |
| 副執行委員長 | 柏本多恵子 | 社会館 |
| 執行委員 | 神田 春美 | 新瑞福祉 |
| | 鈴木 敏宏 | みなと福祉会 |
| | 長尾 倫子 | 城西病院内保育所 |
| | 服部 公一 | 社会館 |
| 書記長 | 藤原 佳子 | 書記局 |
| 書記次長 | 兼子良子 | みよし保育園 |
| 執行委員 | 安藤 実花 | いりなか保育園 |
| | 安藤 光枝 | 荒畑もちの木共保 |
| | 石黒 修一 | ゆたか民主労組 |
| | 石谷 圭子 | けやきの木保育園 |
| | 五十川 薫 | ちよだ |
| | 榎本 淳 | 名市大病院内保育所 |
| | 大川 真護 | みなと福祉会 |
| | 大矢 知里 | そよ風 |
| | 栄 エリカ | めいばえ保育園 |
| | 篠崎 歩 | ひまわり保育園 |
| | 田中 佳子 | 道徳たけの子共保 |
| | 田部井里一 | そよ風 |
| | 千代 智子 | 池内わらへ保育園 |
| | 長坂 直美 | ほしぎ保育園 |
| | 成田 智美 | みよし保育園 |
| | 西岡 菜絵 | 新瑞福祉 |
| | 丹羽 雅之 | 第一めいほく保育園 |
| | 林 拓己 | のぎ保育園 |
| | 藤井 徳枝 | かわらまち夜間保育園 |
| | 増村 潔 | 東市民病院内保育所 |
| | 水越絵美子 | とんぐり保育園 |
| | 水野 彩子 | かわらまち夜間保育園 |
| | 三富和歌子 | 田代保育園 |
| | 宮田久美子 | 池内わらへ保育園 |
| 会計監査 | | |
| | 佐藤 由美 | あいかわ保育園 |
| | 三浦 修司 | ひまわり保育園 |
| 特別執行委員 | 仲野 智 | |
| 顧問 | 平出 暁 | |
| | 小阜川 弘江 | |

共保部会 鈴木代議員「市交渉報告と無認可保育所の展望」

豊明なかよし・道徳たけの子

荒畑もちの木の3分会、県下は非組であと4ヶ所ある。無認可園は1人職場が多く相談相手もおらず大変。豊明なかよしは30名とつたが市が認可してくれない、道徳たけの子はなかなか認可がおりない、荒畑もちの木は認可園と共に家庭保育室制度。

8/22に2分会で市交渉。応援が多く心強い。共保が少なくなっていくことで、市の対応の冷たさを感じる。「企業参入につながるから全ての無認可に補助はできない。」と言われたが、そこに預けられている子、そこで働いている人はどうなるのか。無認可であってもがんばっているところには補助を。これから

職保部会岡村代議員「職保部会の活動と院内保育所の状況」
職保部会毎月第3水に活動、職場交流・交渉準備進めてきた。
東市民病院保育所では医師・看護師確保のため就学前24時間保育の突然の提案。運営委員会の継続はかなり厳しい。運営を委託業者に委託するのやむをえずと言われている。企業委託だけは絶対阻止したい。病院組合と共同して運動を作りたい。

今年度中には何からの決定が下される。

名市大分会宮地代議員「議案論議したことと名市大の状況」

イラク派兵違憲判決画期的だが、アメリカ支援の継続をすすめる事で善意の支援活動が標的になっている。

学内保育所の運動支援ありがとう。4月からトットメイトがスタート。6人の入所児がいる。22年統合案が出ていても言われているがまだ決まっていない。トットに入園児がないため、強行される可能性あり。それに伴う就労条件の改善が心配。今後のあり方について協議をしていく。どんぐりでの3才児以上の保育をめざしていきたい。

保育協 三富執行委員

「保育協の組織強化について」

10月の愛知県交渉に向けて準備中。市の民調が守られているのは心強い。それを守り発展させる事が愛知県下・全国の力になる。

反面、無認可保育所への低い補助金や、県下の保育の企業参入、公立の民営化など保育制度の解体が進んでいる。こういった問題を踏まえて保育協として今まで以上の役割を担っていかなくてははいけない。そのため

保育協の役員を、分会から



笑顔あふれる大会。元気になるね!

も出し、てほしい。幹事会のあり方も検討したい。そして分会との応答関係を強め、専門部のメリットを生かした交流などで保育協だからできることに取り組んでいきたい。役員選出について各分会で討議していただいて、積極的に受け止めてほしい。

青年部 代議員オブ執行委員

「みんなで作る青年部」

8/23、24「ぶっちわか」が行われた。東京・神戸の2会場。東海からは5人が東京に参加。アンケートを元にパネルトーク・交流をした。労働条件厳しい。

09年度は「なつわか」や愛労連青年協の9/13、15サマーセミナーに、ぜひ参加を。

青年部は毎月第一月曜に定例で行っている。(原:「毎月参加している。分会会議と同じくらい楽しみ。」 大川:「楽しみにしているが、障害からの参加少ない。みんなきて〜」)

みんなでのしくやれる会に。

職対部 高島代議員「1年間の取り組みと09年方針について」
メンタルの病が増えてきている。07年度病休者22名、うち13名退職。病休者を出さない取り組みとして、学習会なども行い職場の意識も高まってきている。産業医・安全衛生委員会の設置をすすめていこう。

今年度職対部に支部から部員を出してもらい今では10名に強化された。支部や分会の状況がつかみやすくなった。職対部も現場を回っていききたい。

のぎく分会林執行委員・山田代議員「原水禁世界大会報告」

8/4、6で行われた原水爆禁止世界大会に4名で参加。報告集をつくったのでみてほしい。

【編集後記】

地本執行委員になって「3年」。風光る編集委員になって「3年」。発行してきた風光る「18号」。書いてきた編集後記「12編」。

一番始めた書いた編集後記にあった言葉「鼻が詰まったりすると解るんだ。今まで呼吸をしていた事」。BUM OF CHICKENの「supernova」の歌詞です。たまたまお風呂ラジオから流れてきた曲でした。

あれから3年。私のお風呂ラジオからはまたBUM OF CHICKENの曲が流れてきました。「巧いかないな日々が繋がって

林:6回目の参加。歴史の事実として建物や人を守っていくことの大切さを感じた。第3の被爆都市を作っていない事実に感謝したい。

山田:初めての参加。平和について交流する事でパワーをもらって帰ってきた。また機会があったら参加したい。



旧執行委員の皆さん お疲れ様でした!

ていっせ止めたくなくてそれも出来ない。そんなモンだって割り切れた訳でもない。」

仕事して、食べて、寝て、友達とあーでもないこーでもない話をして。毎日いいことばかりじゃないけれど、うまくいくことばかりじゃないけれど、これからもそんな毎日を送っていきたく思います。

この3年間、自分では何か変わったのかも分らないけれど、次へ繋げていきたいと思えます。3年間、ありがとう「さいまし」。(C)